

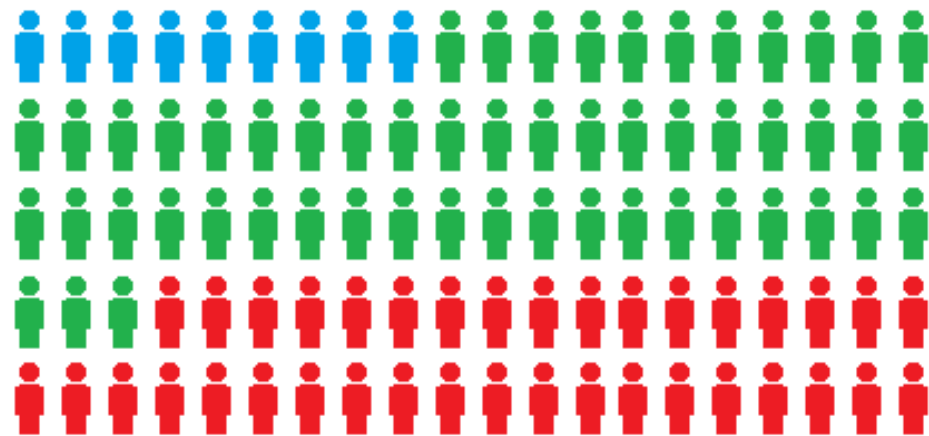
みんなで知ろう 鹿折の「いま」

「鹿折の5年後ってどうなっているんだろう…？」

- 人口構成はどうなっているんだろう
- まちはどうなっているんだろう
- 住みやすい鹿折地区ってどんな「地域」だろう

私たちと一緒にかんがえてみませんか？

【鹿折地区を100人で表したら……】



(= 高齢者 37人 = 大人 54人 = 子ども 9人)

☆高齢化率 36.6%…… 鹿折の人が100人集まれば約37人が高齢者



今の鹿折の人口構成は
どうなっているの？



【鹿折地区の世帯数と人口数】(資料：気仙沼市)

	平成28年10月末	平成29年10月末	増減
世帯数	2,104 世帯	2,044 世帯	-60 世帯
人口	5,273 人	5,061 人	-212 人
高齢化率	36.4 %	36.6 %	+0.2 %

☆鹿折地区はこの1年間で人口が212人、1か月で約17人ずつ減っています
人口減少はどうすればとまるでしょう？



今年も我が家の神棚に「星の玉」を飾りました。
星の玉のあの模様にはどんな意味があるんでしょう？
くわしい方ぜひ教えてください♪
発行：鹿折まちづくり協議会 (080-4510-3395)



鹿折まちづくり通信 Vol.28

発行日：2018年1月1日



謹んで新年のお慶びを申し上げます
本年も鹿折まちづくり協議会をよろしく願っています

鹿折まちづくり協議会 会長 鈴木博

新年あけましておめでとうございます。
旧年中は、地域のみなさま、ご支援いただいている多くのみなさまに大変お世話になりました。
おかげさまで鹿折まちづくり協議会は昨年で設立五周年を迎えることができました。
前年度より取り組みを始めた「鹿折復興盆踊り大会」の開催、「鹿折津波記憶石～未来への伝言～」の建立を多くのみなさまにお支えいただき行うことができました。
鹿折地区は年々人口減少と少子高齢化による地域力の減退が顕著となっております。
鹿折まちづくり協議会は地域防災や地域交通など、住みよい地域づくりのために、
本年も地域のみなさまと一緒に考えてまいります。
みなさまにも二か月に一度開催している、住民の意見交換の場であるまちづくりサロンをはじめ、地域の行事にご参加いただけますようよろしくお願い申し上げます。
みなさまのご健勝とご多幸をお祈りして新年の挨拶にかえさせていただきます。

平成三十年 元旦



目で見る鹿折の復興のようす



2017年12月 浪板側より撮影



2017年8月 西八幡町側より撮影

街路樹をみんなで植えました

11月19日（日）、やすらぎ前の道路にコブシの木の植樹を行いました。

街路樹はUR都市機構様の協力のもと、鹿折中学校生徒のみなさんと地域住民のみなさんがいっしょに去年のワークショップで植えることを検討し実現しました。木の種類も「ふるさとを思い出す木」としてコブシが選ばれました。コブシは春になると白い大きな花を咲かせます。地域の子どもたちの健やかな成長と、地域の繁栄をコブシの木が見守ってくれることを願っています。



雪が降る中街路樹の植樹イベントにはたくさんの方に集まっていただきました



鹿折中学校の生徒のみなさんに樹名札を作成していただきましたぜひ見に来てください

岩手県北上市口内地区へ

視察に行ってきました

12月3日（日）、まちづくり先進地・岩手県北上市口内地区へ視察に行ってきました。

口内地区は北上市の東側に位置する山あいの地域で、平成22年から地域住民が設立した「NPO法人くちない」が地域の交通弱者の方を地域のボランティアがマイカーで有料で送迎するサービス（自家用有償旅客運送）を行っています。利用者は年々増加しており、地域の交通の要として機能しています。

コミュニティストアー、高齢住民の草刈りや雪かきなどのお手伝いをするなど、地域住民の課題を解消する活動に、参加者は大きな関心を寄せました。



コミュニティストアー（店っこくちない）の様子を視察しました

自家用有償旅客運送にはマイカーが使われています

「ししおりまるしえ」にご来場 いただきありがとうございました



11月23日（木）、一般社団法人かもみ～るさんとの共催で「ししおりまるしえ」を開催しました。

錦町コミュニティセンターを会場に26の団体がさまざまな手作り品を展示・販売し、当日は約500の方にご来場いただきました。

鹿折南住宅自治会に入居されているみなさんも手芸品を展示するなど、自分たちの活動発表の場になりました。



まちづくりサロンで視察結果の共有を行いました

今回の視察の報告を兼ねて12月12日（火）のまちづくりサロンでは視察報告会と参加者による意見交換会が行われました。

「NPO法人くちない」の活動を受けて、何が地域のためになるか、私たちは地域のために何ができるかを考える機会となりました。



視察参加者アンケート【今回の視察で感じたこと】

- 「地域のために何ができるか考えたい」
- 「高齢者の住みやすさという視点から考える必要がある」
- 「地域内の共助について考えたい」
- 「もっと自分たちの地域についての現状、未来予測が必要」
- 「地域に必要なことを地域で行える仕組みづくり」 など

